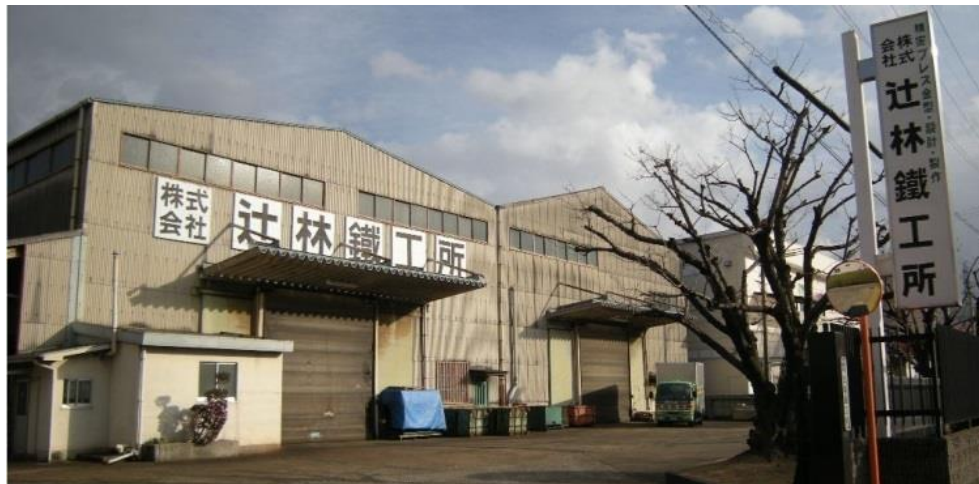


1. 事業所概要

株式会社 辻林鐵工所

施設用途	大型プレス金型、順送用プレス金型、アルミ金型材押出ダイス等の設計・製作
所在地	堺市中区毛穴町175番地
創業開始年	昭和22年8月

会社概要
 大型プレス金型、順送用プレス金型、アルミ金型材押出ダイス等の設計・製作を通じて、信頼と高品質をユーザーに提供し、人々の暮らしに価値ある製品をとどけるため、研究・開発に挑み続け、熱い情熱で、次代へ羽ばたく“翼”を創っています。

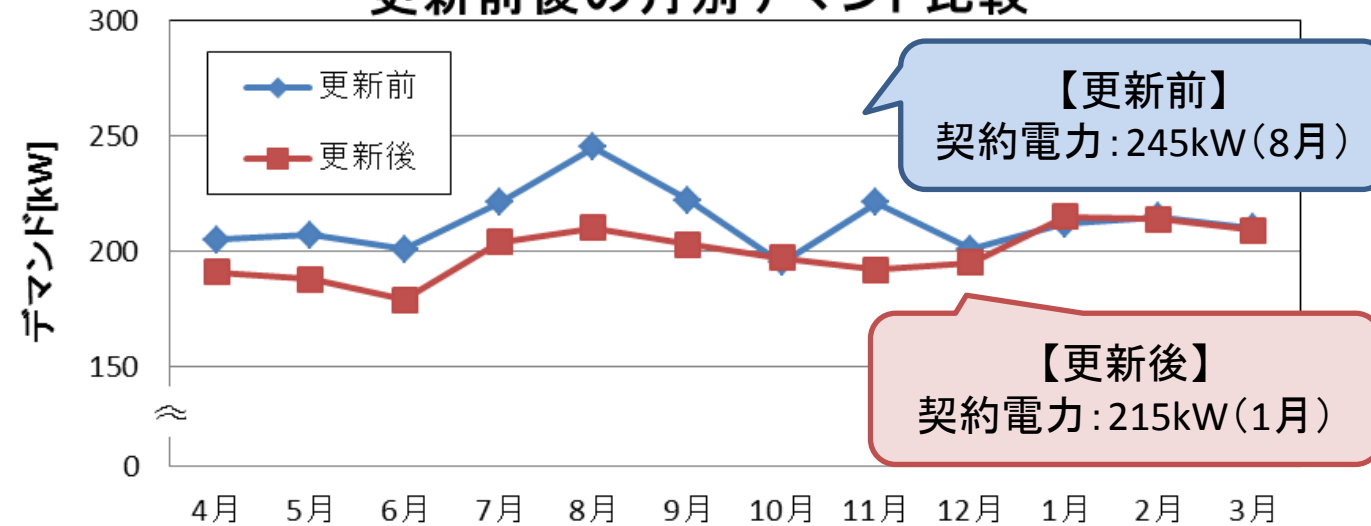


3. 導入後の成果

	更新前	更新後	削減量	削減率
事業所全体のエネルギー使用量 (KL)	214.6	197.4	17.2	8.0%
事業所全体の温室効果ガス排出量 (t-CO2)	445.9	410.0	35.9	8.1%

1年間の光熱費削減金額 **約140万円**

更新前後の月別デマンド比較



事業者の感想

- 契約電力は245kW (8月) から215kW (1月) に、また、夏季のデマンド値は203kW (9月) に下がり、設備更新による効果を実感している。
- 特に、コンプレッサのINV化によってアンロード時の消費電力が低減したことが大きいと感じている。
- また、堺市で実施している無料の「省エネ・節電アドバイザー派遣事業」に申込み、専門家から省エネ手法についてアドバイスを受けたことで、設備更新以外の方策についても新たな発見を見出すことができた。

4. その他、環境への取組みなど

- 夏季はエアコン稼働させる前に換気を行い、室内の温度を下げるようにしている。
- 工場内照明のスイッチ回路を現状は1列ずつ設けているが、一部で作業する際も1列すべての照明を点灯する必要があり無駄が生じていることから、1列を前後2系統に分けスイッチ回路を細分化することを検討している。

2. 設備更新を行った事業概要

更新した設備： ①コンプレッサ 1台

更新した設備： ②空調機 5台

- 【事業概要】
- ①コンプレッサ (37 kW: 1台) をインバータ式コンプレッサ (37 kW: 1台) へ更新
 - ②空調機 (冷房: 20.9kW、16.3kW、22.7 kW、14.5 kW) 及び石油ストーブ (12.3 kW) を、トップランナー基準の空調機 (冷房: 20kW、暖房: 22.4 kW、及び冷房: 14kW、暖房: 16kW) へ更新
- 【スケジュール】
- (コンプレッサ) 平成28年10月22日着工、同日工事完了
 - (空調機) 平成28年11月7日着工、同年11月9日工事完了